



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年11月13日

上場会社名 株式会社一家ダイニングプロジェクト 上場取引所 東  
 コード番号 9266 URL <https://ikkadining.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武長 太郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 高橋 広宜 (TEL) 047-302-5115  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 ( 機関投資家・アナリスト向け )  
(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,847	16.1	11	—	△28	—	△43	—
2019年3月期第2四半期	3,314	13.4	0	△98.8	0	△99.0	△3	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期第2四半期	△6.98		—					
2019年3月期第2四半期	△0.52		—					

- (注) 1. 当社は、2018年6月15日付で普通株式1株につき20株の割合及び2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純損失を算定しております。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,485	1,148	32.9
2019年3月期	3,363	1,216	36.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 1,148百万円 2019年3月期 1,216百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,211	16.0	400	38.3	359	25.1	218	78.7	35.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2020年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期2Q	6,196,000株	2019年3月期	6,196,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2020年3月期2Q	47,800株	2019年3月期	一株
------------	---------	----------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期2Q	6,187,583株	2019年3月期2Q	6,148,730株
------------	------------	------------	------------

（注）当社は、2018年6月15日付で普通株式1株につき20株の割合及び2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数（普通株式）を算定しております

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や企業収益の改善、個人消費の持ち直しを背景に、緩やかな回復基調にあるものの、米中の貿易摩擦の長期化などによる世界経済の不確実性などから、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、業界全体として緩やかな回復基調にあるものの、人材不足の深刻化による人件費・採用費の上昇、原材料の高騰や企業間競争の激化など、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社は『あらゆる人の幸せに関わる日本一のおもてなし集団』というグループミッションのもと、より多くのお客様におもてなしによって感動を提供する為に、事業の拡大、優秀な人材の確保及びサービス力向上に注力して参りました。

飲食事業においては、都内を中心に主力業態の新規出店、サービス力向上及び店舗オペレーションの改善、自社アプリ会員の獲得によるリピーター客数の増加に継続して注力してまいりました。新規出店に関しては、ドミナントエリア拡大に向けた西東京地区への出店（屋台屋博多劇場調布店）や神奈川県への出店（屋台屋博多劇場藤沢店）の他、引き続き山手線エリアへの出店（屋台屋博多劇場新橋3号店）、千葉県エリアへの出店（屋台屋博多劇場おたかの森店、こだわりもん一家木更津店、屋台屋博多劇場柏2号店）を行い、新業態となる大衆ジンギスカン酒場ラムちゃん（柏店）、爆辛スパゲティ専門店青とうがらし（代々木店、町田店、新宿西口店）を新規出店いたしました。これにより直営店10店舗を出店し、直営店は合計で66店舗となりました。その他、既存店のこだわりもん一家渋谷店を屋台屋博多劇場へ業態変更いたしました。

また、継続的な会員獲得、自社アプリでの販促企画により、リピーター客数も好調に推移しました。

既存店（屋台屋博多劇場業態・こだわりもん一家業態）におきましては、屋台屋博多劇場での戦略的な値下げ、こだわりもん一家での宴会売上比率減少などにより客単価は前年比97.6%となった一方、屋台屋博多劇場のリピーター客数の増加などにより客数が前年比102.7%と増加し、売上高は前年比100.2%で推移しました。

ブライダル事業におきましては、結婚式のニーズの多様化により少人数婚のニーズが高まり、婚礼1組当たりの組人数が減少傾向にある中、婚礼の主力広告媒体との連携強化による来館数・成約率の向上、サービス力向上及びコスト削減、宴席の新規案件の取り込み及びリピーター客数の増加、レストランのサービス力、商品力の向上及び新規客数の増加にも継続して注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は3,847,110千円（前年同期比16.1%増）、営業利益は11,217千円（前年同期は営業利益575千円）、経常損失は28,056千円（前年同期は経常利益470千円）、四半期純損失は43,204千円（前年同期は四半期純損失3,206千円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 飲食事業

売上高は2,753,929千円（前年同期比24.5%増）、セグメント利益（営業利益）は43,353千円（前年同期のセグメント損失（営業損失）は19,566千円）となりました。

#### ② ブライダル事業

売上高は1,093,180千円（前年同期比0.8%減）、セグメント損失（営業損失）は△32,136千円（前年同期のセグメント利益は20,142千円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (総資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、現金及び預金が117,985千円減少したものの、新規店舗のオープンに伴い有形固定資産合計が207,417千円増加、敷金及び保証金が58,859千円増加したことなどにより、3,485,415千円（前事業年度比122,324千円の増加）となりました。

#### (負債)

当第2四半期会計期間末における負債は、未払法人税等が62,472千円減少したものの、長期借入金が279,966千円増加したことなどにより、2,337,357千円（前事業年度比190,675千円の増加）となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、その他有価証券評価差額金が24,773千円増加したものの、四半期純損失の計上に伴い利益剰余金が43,204千円減少、自己株式の取得により49,919千円減少したことなどにより、1,148,057千円(前事業年度比68,350千円の減少)となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は654,078千円(前年同期は757,414千円)となりました。当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは8,477千円の収入(前年同期は44,023千円の収入)となりました。これは、減価償却費105,861千円の計上、未払金の増加36,512千円などによる資金の増加が、税引前四半期純損失56,268千円の計上、その他の負債の減少74,454千円及び法人税等の支払61,281千円などによる資金の減少を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは405,055千円の支出(前年同期は299,369千円の支出)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出384,771千円及び差入保証金の差入による支出59,078千円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは275,590千円の収入(前年同期は263,559千円の支出)となりました。これは、長期借入れによる収入600,000千円などによる資金の増加が、長期借入金の返済による支出274,426千円及び自己株式の取得による支出49,919千円などによる資金の減少を上回ったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間における業績が概ね当初計画どおりに進捗していることから、2020年3月期の業績予想については、2019年5月14日公表の「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載の予想を変更しておりません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	852,634	734,649
売掛金	112,824	119,611
原材料及び貯蔵品	28,789	31,685
その他	116,247	137,671
貸倒引当金	△378	△326
流動資産合計	1,110,118	1,023,291
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,829,512	2,091,197
減価償却累計額	△540,055	△600,062
建物（純額）	1,289,457	1,491,135
その他	594,891	636,983
減価償却累計額	△369,020	△405,372
その他（純額）	225,871	231,610
有形固定資産合計	1,515,328	1,722,745
無形固定資産	18,946	17,632
投資その他の資産		
敷金及び保証金	450,403	509,263
その他	266,173	211,001
投資その他の資産合計	716,576	720,265
固定資産合計	2,250,851	2,460,643
繰延資産	2,119	1,480
資産合計	3,363,090	3,485,415

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	174,196	175,858
1年内返済予定の長期借入金	463,662	509,270
未払法人税等	84,867	22,395
未払金	350,833	323,945
その他	225,256	154,410
流動負債合計	1,298,816	1,185,879
固定負債		
長期借入金	563,182	843,148
資産除去債務	230,718	254,187
その他	53,966	54,143
固定負債合計	847,866	1,151,478
負債合計	2,146,682	2,337,357
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	366,172	366,172
資本剰余金	340,172	340,172
利益剰余金	534,836	491,632
自己株式	—	△49,919
株主資本合計	1,241,180	1,148,057
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△24,773	—
評価・換算差額等合計	△24,773	—
純資産合計	1,216,407	1,148,057
負債純資産合計	3,363,090	3,485,415

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	3,314,562	3,847,110
売上原価	1,107,913	1,288,036
売上総利益	2,206,649	2,559,074
販売費及び一般管理費	2,206,073	2,547,857
営業利益	575	11,217
営業外収益		
受取利息	3,971	256
受取手数料	491	505
その他	2,126	357
営業外収益合計	6,589	1,119
営業外費用		
支払利息	4,394	3,065
投資有価証券償還損	—	35,418
その他	2,300	1,909
営業外費用合計	6,695	40,393
経常利益又は経常損失(△)	470	△28,056
特別損失		
減損損失	—	28,212
その他	302	—
特別損失合計	302	28,212
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	168	△56,268
法人税、住民税及び事業税	4,390	3,851
法人税等調整額	△1,015	△16,916
法人税等合計	3,374	△13,064
四半期純損失(△)	△3,206	△43,204

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	168	△56,268
減価償却費	97,224	105,861
長期前払費用償却額	12,233	14,239
減損損失	—	28,212
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△214	△52
受取利息及び受取配当金	△3,971	△256
支払利息	4,394	3,065
固定資産除却損	258	—
投資有価証券償還損益(△は益)	—	35,418
売上債権の増減額(△は増加)	13,906	△6,786
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,675	△2,896
仕入債務の増減額(△は減少)	3,137	1,661
未払金の増減額(△は減少)	24,756	36,512
その他の資産の増減額(△は増加)	△9,129	△12,300
その他の負債の増減額(△は減少)	△24,323	△74,454
その他	683	738
小計	116,447	72,694
利息及び配当金の受取額	3,935	256
利息の支払額	△4,349	△3,191
法人税等の支払額	△72,010	△61,281
営業活動によるキャッシュ・フロー	44,023	8,477
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△262,305	△384,771
無形固定資産の取得による支出	△8,130	△960
投資有価証券の償還による収入	—	64,581
差入保証金の差入による支出	△16,025	△59,078
差入保証金の回収による収入	27	139
その他	△12,935	△24,966
投資活動によるキャッシュ・フロー	△299,369	△405,055
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	50,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△310,068	△274,426
株式の発行による収入	1,195	—
自己株式の取得による支出	—	△49,919
その他	△4,687	△64
財務活動によるキャッシュ・フロー	△263,559	275,590
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△518,906	△120,987
現金及び現金同等物の期首残高	1,276,320	775,065
現金及び現金同等物の四半期末残高	757,414	654,078

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年8月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式25,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期累計期間において自己株式が49,919千円増加し、当第2四半期会計期間末において自己株式が49,919千円となっております。

(重要な後発事象)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2019年8月13日開催の取締役会決議に基づき、2019年10月1日を効力発生日として株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行っております。

1. 株式分割の目的

株式分割を実施することにより、当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げ、当社株式の流動性の向上と投資家層の更なる拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

2019年9月30日(月曜日)を基準日として、同日の最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式1株につき、2株の割合を持って分割いたしました。

(2) 分割により増加する株式数

① 株式分割前の発行済株式総数	: 3,098,000株
② 今回の分割により増加する株式数	: 3,098,000株
③ 株式分割後の発行済株式総数	: 6,196,000株
④ 株式分割後の発行可能株式総数	: 18,560,000株

(3) 分割の日程

① 基準日公告日	: 2019年9月13日(金曜日)
② 基準日	: 2019年9月30日(月曜日)
③ 効力発生日	: 2019年10月1日(火曜日)

3. 1株当たり情報に及ぼす影響

1株当たり情報に及ぼす影響は(1株当たり情報)に反映されております。

4. 株式分割に伴う定款の一部変更

(1) 定款変更理由

上記の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づく取締役会決議により、2019年10月1日(火曜日)をもって当社定款の一部を変更いたしました。

## (2) 定款変更の内容

変更の内容は、以下のとおりです（変更箇所は下線を付しております。）。

現行定款	変更案
(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行する株式の総数は、 9,280,000株とする。	(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行する株式の総数は、 18,560,000株とする。

## (3) 定款変更の日程

効力発生日 2019年10月1日（火曜日）

## 5. その他

## (1) 資本金の金額の変更

今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。

## (2) 新株予約権の調整

今回の株式分割に伴い、2019年10月1日（火曜日）以降、当社発行の新株予約権の1株当たりの行使価額を以下のとおり調整いたします。

	調整前行使価額	調整後行使価額
第1回新株予約権 (2015年12月24日取締役会決議)	83円	42円
第2回新株予約権 (2016年1月23日取締役会決議)	83円	42円
第3回新株予約権 (2017年3月29日取締役会決議)	650円	325円